

## 「空港運営に関する有識者懇談会」ヒアリング資料

(稚内市)

## 【稚内空港における現状と課題】

## □ 空港の現状とこれまでの取り組み

## (空港概況)

設置管理者： 国土交通大臣

位 置： 北緯45度26分16秒、東経141度48分8秒

標 高： 8.0m

面 積： 102ha

着 陸 帯： 2,320mm×300m B級

滑 走 路： 2,200m×45m LA-12

誘 導 路： 195m×30m

エプロン： 23,100㎡、MJ2、SJ2

航空保安施設： ILSCAT I 08

駐 車 場： 196台

ターミナルビル： 4,034㎡

運用時間： 8:30～18:30

## (沿革)

昭和35年4月：開港（滑走路1,200m）

昭和59年3月：格納庫新設により離島路線の基地化、滑走路延長（1,800m）

昭和63年10月：滑走路延長（2,000m）

平成10年7月：ターミナルビル増築

平成19年8月：就航率改善事業着手

平成21年11月：就航率改善事業完了、滑走路延長（2,200m）

## (就航状況)

運 行 会 社： ANA

就 航 路 線： 稚内～羽田、稚内～関西、稚内～名古屋、稚内～新千歳

(就航率・搭乗率・旅客数の状況)

稚内空港利用状況 (4月～3月)

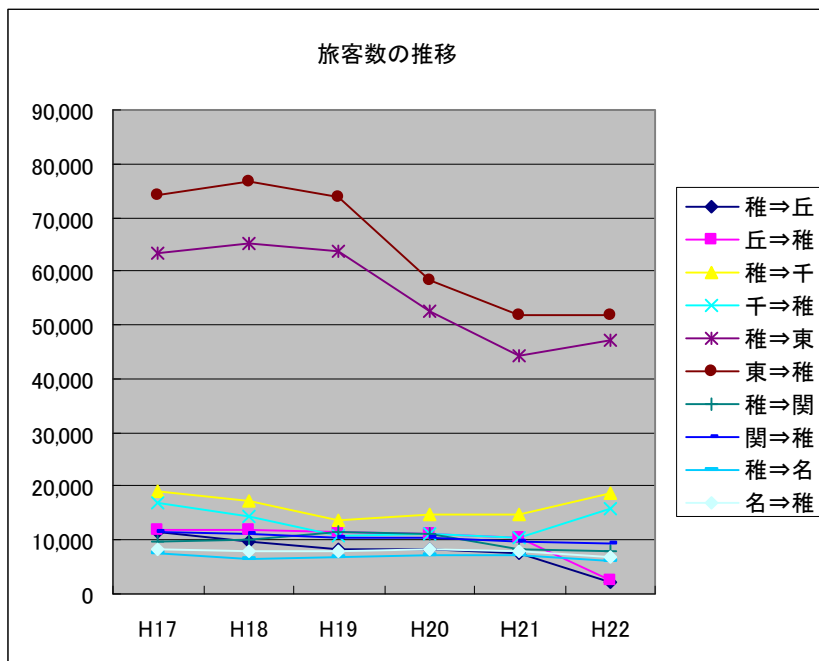
区 分	旅 客 数 (人)				搭 乗 率 (%)				就 航 率 (%)			
	H20	H21	H22	対比	H20	H21	H22	対比	H20	H21	H22	対比
稚内～丘珠	8,388	7,523	2,018	△5,505	44.1	38.9	40.0	1.1	93.0	94.5	98.9	4.4
丘珠～稚内	11,127	10,368	2,668	△7,700	58.6	53.8	52.9	△0.9	92.7	94.2	98.9	4.7
稚内～千歳	14,698	14,623	18,667	4,044	35.1	33.9	37.5	3.6	90.8	92.6	95.1	2.5
千歳～稚内	11,052	10,589	15,816	5,227	26.4	24.6	33.8	9.2	90.8	92.6	95.0	2.4
稚内～東京	52,547	44,420	47,223	2,803	62.5	56.0	55.0	△1.0	94.5	94.1	95.5	1.4
東京～稚内	58,397	51,977	51,705	△272	68.5	64.2	60.0	△4.2	96.3	96.3	97.3	1.0
稚内～関西	11,180	8,257	7,805	△452	72.9	55.7	47.9	△7.8	99.2	100	100	0
関西～稚内	10,503	9,800	9,347	△453	68.0	66.1	57.4	△8.7	100	100	100	0
稚内～名古屋	7,159	7,097	6,184	△913	58.6	57.3	53.2	△4.1	100	100	100	0
名古屋～稚内	8,309	7,783	6,993	△790	68.0	62.9	60.1	△2.8	100	100	100	0
チャーター便	300	1,909	2,527	618								

旅客数合計

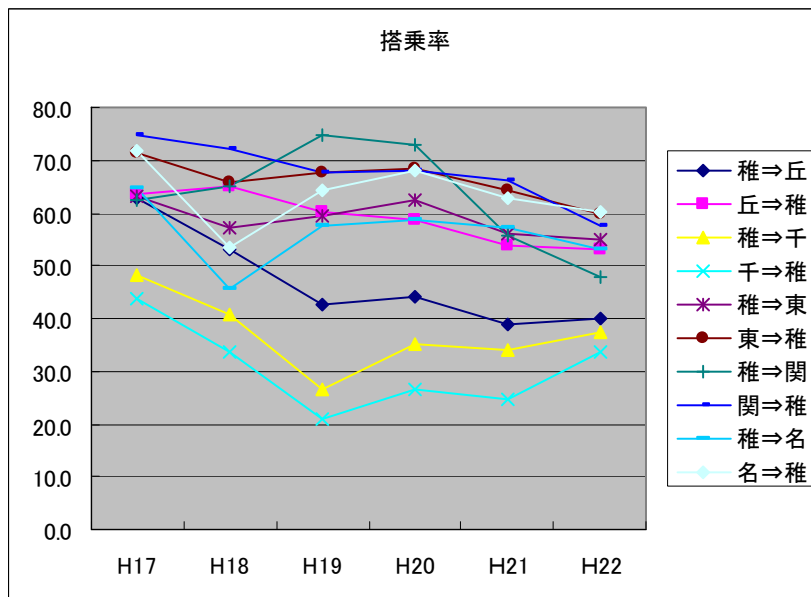
年 度	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年度
旅 客 数	220,608	193,660	174,346	170,953
対 前 年	—	△ 26,948	△ 19,314	△ 3,393

(注)

- ※ 丘珠は6月まで運航、7月から千歳2便体制/日
- ※ 東京は通年運航、6月～9月は2往復/日、それ以外は1往復/日
- ※ 関西、名古屋は季節運航、関西は6月～9月、名古屋は6月～8月
- ※ チャーター便運航状況
  - H17年度：福岡2往復
  - H18年度：福岡2往復
  - H19年度：海外5往復（上海1、台北4）、国内4.5往復（北九州2.5、広島2）
  - H20年度：沖縄（石垣・那覇）1往復。
  - H21年度：福岡4往復、利尻3往復、台湾（高雄・台北）1往復
  - H22年度：稚内→台北3便、台北→稚内4便、稚内→千歳4便、中標津→稚内4便、稚内→能登1往復、稚内→サハリン1往復、稚内→種子島1便、奄美大島1便



○20年度の東京直行便が落ち込んでいるのは夏場7～9月の座席提供数が減ったため。  
 B767-300 (260人乗り) ⇒ B737-800 (167人乗り)・A320 (166人乗り)



#### 平成22年度要望活動

- 5月14日 中華航空札幌支店
- 9月3日 全日空上海支店・中国東方航空 チャーター便要請
- 10月13日 全日空札幌支店訪問

### (稚内空港ビルの現状)

会社の概況（第26期 H22,4,1～H23,3,31 による）

- (1) 事務所 本社 北海道稚内市大字声問村字声問6744番地
- (2) 株主総数 25名
- (3) 株主出資額 4億9,800万円
- (4) 従業員数 5名
- (5) 営業実績および財産の状況推移
  - 営業収益 1億6千万円
  - 当期利益 1,100万円
  - 1株当当期利益 1,113円
  - 総資産 8億2,500万円

### □ 課題及びその解決に向けた今後の取り組みの方向性

主な課題：旅客数の減少、就航率の向上、路線の確保

主な取り組み：外国人観光客の誘致、キャンペーン宣伝活動、全国レベルの会議等のイベント誘致、合宿誘致、フィルムコミッションの取り組み強化など展開するとともに、フットパスの整備、エコ体験観光などの売り込み。空港から宗谷岬のハイブリットバスの実証運行に取り組む

### 【地域における空港の役割】

観光客、ビジネス客利用など経済活動や通院、購買など生活路線としての役割  
救急患者の搬送など地域住民の命の安全を守る役割

### 【国の検討会報告書についての受け止め】

H23年10月17日 「稚内空港運営のあり方に関する情報交換会」開催

参加者：市・商工会議所・稚内空港ビル、宗谷総合振興局（オブザーバー）

※ 現状では情報が不足なので、意見交換で終了。今後、国や関係機関とのヒアリングを通じ様々な情報を集め、情報交換していく。